

【事務事業調査】

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業費		予算科目コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業 001-03-02-01-003-01-07	
担当部課	教育部 こどもみらい課	担当係長	保育係 福田 剛	事業の分類	既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	<p>H23 事後評価</p> <p>平成23年10月より事業を開始しました。半年ではありますが、87件のサービスができました。サービス提供会員57人、サービス依頼会員61人の登録をしていただきました。</p> <p>H25 事前評価</p> <p>子育て支援センターれんげそう(にじいろ保育園併設)内にアドバイザーを配置し、センターを運営していきます。アドバイザーは、センターのPRと会員募集、協力会員の登録や研修、依頼会員への協力会員の紹介などを行います。</p> <p>現在、サービス提供会員数は57名ですが、平成23年度において実際に依頼会員へサービス提供できた会員は10人でしたが、会員の活動できる時間または曜日の制限によって提供できない会員もいました。個々の提供会員の登録状況を見ると、時間や曜日に制限無くフルに活動できる会員数は少なく、また提供できるサービス内容の偏りも見られます。このことから、サービス毎の研修会を開催するなどして、会員の技能向上のため外部講師による専門的な研修を実施します。時間等の制限のある提供会員に対しては、イベントなどのお手伝いに誘うなどして、意識の向上を図っていきます。</p> <p>ファミリーサポートセンターの活動を広く普及啓発するため、他の会議等を活用し、PR活動を効率良く展開していきます。</p>	<p>ファミリーサポートセンターは、子育ての支援をしたい人(提供会員)と、子育ての支援を受けたい人(利用会員)がお互いに会員になって助け合うことをサポートする会員組織です。この仕組みにより、子どもたちの健やかな育ちを地域でサポートしていく気運を根付かせることが期待する成果です。</p> <p>また、既存施設での一時預かり事業とは差別化し、保育園・幼稚園・学童クラブなどの送り迎えや、会員宅での預かりを行うことで、乳幼児を連れて出かけにくいときや病気が治っても集団生活までは無理なときなど、より細やかな子育てで家庭のニーズに応えることができる事業です。</p> <p>提供会員への提供できるサービス毎の研修を実施することで、提供会員がサービスへの自信を持てる必要があります。そのため、会員を確保するだけではなく提供会員の技能向上を図るため、外部講師による専門的な研修を実施します。登録していただいた会員にモチベーションを持っていただくことが必要です。</p>
実績		

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
年間サービス利用者数(延べ)	180件		<p>月30件のサービス利用が目標とする活動指標です。なお栃木県内(H23.9現在)では、9市2町がファミリーサポートセンターを設置しています。</p> <p>☆実績☆ H22:なし、H23:87件(10~3月) サービス提供会員数57人、サービス依頼会員数61人</p>

■事業費(計画)

【単位:千円】

細 節	金 額	積 算 根 拠
1 賃金	1,978	臨時的任用職員@8,240円×月20日×12ヶ月
2 報償費	100	報償金(研修会講師謝金20,000×5回)
3 需用費	100	消耗品費(事務用品・)、食糧費(会員交流会など)
4 役務費	60	手数料(提供会員、児童保険代 一日2組まで)
5 印刷製本費	30	支援活動報告書印刷(3枚複写)
6		
7		
8		
9		
10		
	2,268	

■事業費(実績)

【単位:千円】

細 節	金 額	特 記 事 項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	0	

■事業経費

		計 画 【千円】	実 績 【千円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	2,268		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金	1,180		子育て支援交付金
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	1,180		
	差引(一般財源)	1,088		